

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公開番号】特開2005-233465(P2005-233465A)

【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2004-40918(P2004-40918)

【国際特許分類】

F 2 4 D 3/16 (2006.01)

E 0 4 F 15/18 (2006.01)

【F I】

F 2 4 D 3/16 K

E 0 4 F 15/18 Y

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月13日(2006.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

一方の面に熱媒チューブの埋設溝が刻設された長尺狭幅で平面形状が長方形を呈する板状体の複数枚を、相互の長さおよび/または幅方向端部同士を接触させて配置して広い面積とされ、上記埋設溝には熱媒チューブを埋設し、相互に隣接する板状体の端部同士が隣接する部分を折曲部とした折畳み可能な放熱板において、

相互に隣接する板状体の第一板状体(A1)幅方向端部の熱媒チューブ出口開口部が、長さ方向の端部近傍に、幅方向端部に対して直角にされた部分と、熱媒チューブが湾曲可能な最小径より大きい径で弧状にされた部分との双方で末広がり状にされてなり、第二板状体(A2)幅方向端部の熱媒チューブ入口開口部が、長さ方向の端部近傍であって第一板状体(A1)の開口部とは対応しない位置に、幅方向端部に対して直角にされた部分と、熱媒チューブが湾曲可能な最小径より大きい径で弧状にされた部分との双方で、上記第一板状体(A1)と異なる方向に末広がり状にされてなり、第二板状体(A2)と第三板状体(A)、および、第三板状体(A3)と第四板状体(A4)以降の板状体も順次上と同様の末広がり状の開口部が設けられてなり、

第一板状体(A1)には、厚さ方向の下側に、長さ方向の一方に外側下延在部(a11)が、幅方向の一方に外側下延在部(a12)が、長さ方向の上側に外側上延在部(a21)が、幅方向の他方に外側上延在部(a22)がそれぞれ設けられ、

第二板状体(A2)には、厚さ方向の下側に、長さ方向の一方に外側下延在部(b11)が、幅方向の一方に外側下延在部(b12)が、長さ方向の上側に外側上延在部(b21)が、幅方向の他方に外側上延在部(b22)がそれぞれ設けられてなり、

外側下延在部(a11)と(b11)がそれぞれ他の板状体の外側上延在部(a21)と(b21)と、および、外側上延在部(a22)と(b22)がそれぞれ他の板状体の外側下延在部(b12)と(a12)とで相じゃくり継ぎ構造を形成することを特徴とする、折畳み可能な放熱板。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するために、第一発明では、一方の面に熱媒チューブの埋設溝が刻設された長尺狭幅で平面形状が長方形を呈する板状体の複数枚を、相互の長さおよび/または幅方向端部同士を接触させて配置して広い面積とされ、上記埋設溝には熱媒チューブを埋設し、相互に隣接する板状体の端部同士が隣接する部分を折曲部とした折畳み可能な放熱板において、

相互に隣接する板状体の第一板状体(A1)幅方向端部の熱媒チューブ出口開口部が、長さ方向の端部近傍に、幅方向端部に対して直角にされた部分と、熱媒チューブが湾曲可能な最小径より大きい径で弧状にされた部分との双方で末広がり状にされてなり、第二板状体(A2)幅方向端部の熱媒チューブ入口開口部が、長さ方向の端部近傍であって第一板状体(A1)の開口部とは対応しない位置に、幅方向端部に対して直角にされた部分と、熱媒チューブが湾曲可能な最小径より大きい径で弧状にされた部分との双方で、上記第一板状体(A1)と異なる方向に末広がり状にされてなり、第二板状体(A2)と第三板状体(A3)、および、第三板状体(A3)と第四板状体(A4)以降の板状体も順次上と同様の末広がり状の開口部が設けられてなり、

第一板状体(A1)には、厚さ方向の下側に、長さ方向の一方に外側下延在部(a11)が、幅方向の一方に外側下延在部(a12)が、長さ方向の上側に外側上延在部(a21)が、幅方向の他方に外側上延在部(a22)がそれぞれ設けられ、

第二板状体(A2)には、厚さ方向の下側に、長さ方向の一方に外側下延在部(b11)が、幅方向の一方に外側下延在部(b12)が、長さ方向の上側に外側上延在部(b21)が、幅方向の他方に外側上延在部(b22)がそれぞれ設けられてなり、

外側下延在部(a11)と(b11)がそれぞれ他の板状体の外側上延在部(a21)と(b21)と、および、外側上延在部(a22)と(b22)がそれぞれ他の板状体の外側下延在部(b12)と(a12)とで相じゃくり継ぎ構造を形成することを特徴とする、折畳み可能な放熱板を提供する。